

ごあいさつ

本日は、お忙しい中、オレンジリボン フルートオーケストラ・クリスマスコンサート「サンタクロースになろう！」にお越しくださいませ、誠にありがとうございます。

本年は、新型コロナウイルスの猛威により、多くの人命が奪われ、生活が制限される等、未曾有の出来事の年となりました。そして、この猛威により児童虐待通報件数も急増し、命の危険と隣り合わせになっている子ども達を見過ごすわけにはいかない深刻な事態ともなっております。

児童虐待通報と言えば「ダイヤル189」が日本全国に認知され、児童虐待防止対策が確立されたように思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかしながら、弊団は、児童虐待がまだまだ「他人事」と捉えられている現状に目を向ける必要があると考えております。

メディアで児童虐待の報道がなされると、インターネット上のSNSなどでは虐待をした親やその対応をしてきた児童相談所への誹謗中傷コメントが数多く発信されます。確かに虐待をした親は許し難く、児童相談所の判断や行動も結果として誤りがあったのかもしれませんが。しかし、見方を変えれば、我々大人達は、そのようなコメントを発信することで、「悪人」と「善人」という境界線を引いているとも言えます。つまり、我々大人達は「悪人」を作り上げること、ひいては自分が「善人」という立場である、という線引きをすることで満足し、虐待を「他人事」とし、結局のところ「無関心」になっているのではないのでしょうか？

このような事態を、虐待で命を落とした子ども達は天国でどう感じるでしょうか？「どうして誰も助けてくれなかったの？」と思っているのではないのでしょうか？子ども達にとっては、そのような大人達の立場の違いはいつでもよく、自分達を助けてくれなかった大人達全員を「悪人」として捉えているかもしれません。

弊団は、今一度、児童虐待防止についてできること、虐待に遭い児童養護施設で暮らしている子ども達について応援できることを、大人の一人一人が考え、地域で取り組んでいく必要があると考えております。



本日のコンサートは、児童虐待防止と社会的養護下にある児童養護施設で暮らす子ども達について、5つのMessage（右ページ・プログラムにございます）と生演奏でお感じになられたこと共に思い巡らせ、考え、心に刻んでいただく、という趣向を凝らしております。

感じることは一人一人異なるものになると思いますが、是非、その感じたこと・考えたことを持ち帰っていただき、ご家族や友人、同僚など身近な人達にお話しただけでしたら幸いです。

一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク
代表理事 江口義実
専務理事 加藤孝子

本日の出演者・アーティスト

トリオ&デュオ：*For Children* ～ フルート奏者によるプロジェクト

児童虐待防止啓発、社会的養護下の子ども達の心の応援、子ども達の非認知能力醸成等の活動を推進するフルート奏者によるソーシャル・ユニットです。略称「フォーチル」。(メンバー：江口義実・高橋賀映子・中田朋子・塚本満帆子)

ピアノ：大川知子 (作曲家・ピアノ奏者)

地域ノーマライゼーションを推進する、川崎授産学園 (川崎市麻生区) 共催の音楽交流サロン「奏」のレギュラーメンバー、「奏詩～いまここに」の作曲など、ソーシャル・アーティスト・ネットワークの活動にご協力いただいております。

オーケストラ：フルートアンサンブルで社会貢献

東京・神奈川・千葉・埼玉に6つのグループ (ボナミ・リジョイス・ブーケ・マーブル・ルリアンなど)。社会貢献として演奏活動を推進するアマチュアフルートアンサンブルのグループです。

イラスト：たにひろこ (絵本作家)

第1回ソーシャルアート絵本コンペティション最優秀作品「かーくん」作者。受賞以降、ソーシャル・アーティスト・ネットワークの活動にご協力いただいております。

主催・共催

主催：一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

「アートで社会貢献」をモットーに、児童虐待防止啓発・社会的擁護支援、ノーマライゼーション、国際交流を推進しています。

江口義実(代表理事)：企画、MC、演奏・指揮、印刷物制作

加藤孝子(専務理事)：企画、タイトルメッセージ制作、フロントディレクター

石井百合(理事)：ステージディレクター

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-4-5 杉商ビル8F

Tel:03-6740-1650 Fax:03-5283-8440

<http://www.socialartists.net> E-mail:info@socialartists.net

共催：認定特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク

子ども虐待の防止にかかわるさまざまな団体と連携し、児童虐待防止法制度の改正や児童福祉施設基準の見直しなどを求めるソーシャル・アクション、オレンジボン運動を中心とする、子ども虐待防止のための広報・啓発活動を推進しています。